

鉄道模型レイアウトの夢

- **ブルトレ**や**特急列車**がビュンビュン走る本線を作りたい。
- 直線が続き、緩やかなカーブで**編成美**を楽しみたい。
- 交通博物館・交通科学館の大パノラマを表現したい！！

鉄道模型レイアウトの現実

- 畳1枚分のスペース確保の難しさ。たとえば600×900mmでも難しい。
- 畳1枚で、実施した場合の列車有効長は、**実感身をもたせて20m車4両程度**→**機関車牽引で客車3両**(ブルトレだと**客車2両+電源車1両**)それ以上の編成は、お猿の電車状態(運転手と車掌がご挨拶・極端ですが)
- 電車で4両の普通列車は色々ありますが、特急や急行では、魅力が薄くなった現代の状態になります。(時刻表の編成ページをご覧になるとお解かりになると思います。)趣味の問題ですが。

現実的なレイアウト

- スペースが小さくなれば、予算も縮小できます。
- 小さくても風景主流にすれば、十分魅力的なレイアウトが出来ます。
- 走れる車両が限定されることにより、車両への過度な予算投下、レールへの予算投下が圧縮できます。
- 将来「大きなレイアウト」を作成するに当たり、小さいレイアウトを作る事が、「視覚的要素強い説得材料」になる(かな?)
- 工作力の鍛錬、ないものは作るという発想の転換。
- R200mm以下のカーブを使ってスペース圧縮！

そこで、短編成でR200mm以下で走れる車両は。

20m車1両程度……国鉄・JR支線・地方民鉄など

Bトレ……4両でも20m車換算で2両分、カーブはR100クリア！！

ナローゲージ……何でも来い！R100は当たり前！！

実際にセレクトしてみたら・・・

- ・ 200mm以下の線路を使用するとなると、1年ほど前は「Bトレのレール(R100)かフレキシブル」の状態だったので、迷わずR100を購入。
- ・ 結果として「通常のNゲージ」は走行不可。自動的に「Bトレかナローゲージ」になってしまった。
- ・ 2年前のBトレでは単行車はシークレットの(キハ10)のみ。編成ものは最低2セット以上購入しなければならなかったり、特急急行ものは「客扉の数か変(少なすぎ)」と感じたので却下しました。
- ・ ナローゲージも「Nの下回り使用」という商品は走行不可なので、完全自作に・・・。
- ・ 種車は偶々(嘘。買わなければいけなかったフルバック式の玩具)を使用し郊外電車をモチーフとした。電化なのでちゃんと架線貼る事を第一とした。

山岳電化ナローへ挑戦

- スペースをトミックスのコンビネーションボードの角部分でエンドレスとすることで、スペースは圧縮できたが、景色は？農村は出来ない。都会も同じ。いっそのこと山岳地帯で「トンネルだらけで背後に圧迫感を持たせ狭さを克服」
- カーブ部分は全てトンネルで隠し、直線部分を見せ場として、鉄橋、駅を入れることとした。
- 山岳線なので、鉄橋の高さを最大限かさ上げさせ、立体的な設定に心がけた。





駅のように停留所。



竜泉峡の秋をモチーフにしているのだが・・・道半ば・・・